

ROOM BLOOM

当社が新しい視点で立ち上げたブランド「ROOMBLOOM」のショールームが生まれ変わりました。

“Creative・Coating・Communication”をコンセプトに「Co-YA」と名付けたユニークな家具を効果的に配置することにより、小さいながらも住空間を想像させる空間に仕上げました。あえて未塗装の状態でのリニューアルオープンしたのは、これからお客さまと一緒にワークショップを通じてペイント空間を作り上げていくためです。今後、ペイントによる様々なテクニックやアイデアを実際に見て触れていただける場所になっていきます。



「ROOMBLOOM」ショールームのご案内

場所: 東京都新宿区西新宿3-7-1 新宿パークタワー
「リビングデザインセンター OZONE」6F
開館時間: 10:30~19:00 休館日: 水曜日(祝日を除く)
URL: <https://room-bloom.com/>
<https://www.facebook.com/ROOMBLOOM.jp>



《アクセス》

JR新宿駅南口から徒歩12分。無料シャトルバスはJR新宿駅西口エルトワー前から約10分間隔で運行。

《お問い合わせ先》

TEL.03-3347-9077 (直通)
info-rb@nipponpaint.jp



株主のみなさまへ

第190期 中間報告書

(平成27年4月1日～平成27年9月30日)



長野県高山村 えんま橋より望む紅葉

ごあいさつ

株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに当社グループの第190期第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)の概況についてご報告申し上げます。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、前年度のアジア地域の合弁会社の持分取得(子会社化)に伴い、連結売上高は2,632億70百万円(前年同期比106.9%増)となりました。連結営業利益は、合弁会社の持分取得の影響と、それに伴うのれんおよび無形固定資産の償却費用を販売管理費に計上したことなどから320億53百万円(前年同期比104.3%増)、連結経常利益は336億89百万円(前年同期比47.6%増)となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、非支配株主に帰属する四半期利益を控除した結果、132億79百万円(前年同期比14.9%減)となりました。

なお、海外の事業会社においては一部を除いて12月期決算を採用しており、当第2四半期連結累計期間の対象期間は平成27年1月から6月となります。

◎配当予想の修正-増配のご報告

当社は、WUTHELAM HOLDINGS LTD.との間のアジア地域の合弁会社の持分取得により、平成27年3月期に1,904億円ののれんを計上いたしました。また、当社はグローバルペイントメジャーという将来のゴールを見据えて、平成30年度有価証券報告書からの国際財務報告基準(IFRS)適用を予定しております。かかる状況を受けまして、「業績に応じた利益配分を行う」という株主のみなさまに対する配当方針をふまえ、のれん償却額を加えたIFRSベースで想定した業績に基づき配当金を決定することといたしました。

この結果、1株当たりの中間配当金を期初予想の11円から

4円増配し、15円とさせていただきます。なお、第190期第2四半期連結累計期間におけるのれん償却額は51億円になります。

◎中核4事業会社の発足

当社グループは平成21年度以降、「サバイバル・チャレンジ(以下SC)ステージI・II」における徹底したコストの低減活動により国内の事業を収益が出せる体質に転換し、本年4月より「SCステージIII」をスタートしました。将来的に世界トップの塗料メーカーと伍して戦う「グローバルペイントメジャー※」となることをめざし、「SCステージIII」においては、新たな組織体制の下、企業風土・企業体質の変革に取り組んでおります。本年4月1日付で関係会社を含む国内事業を再編し、4つの事業会社を発足させ、当社の傘下に置きました。新たに発足させた事業会社は、事業・地域によって異なる「顧客・市場ニーズ」を的確に把握し、スピード感をもった成長施策の立案および実行に取り組んでおります。また、平成28年度から寝屋川事業所の人員・設備を国内の各拠点に再編することを本年10月の取締役会で決議いたしました。再編により、技術革新機能および統括機能を当社で保有しつつ、グループ全体の技術力向上と、各事業会社の自立的事業運営の強化を進めてまいります。

◎グローバルビジネスの拡大

海外においては、グローバル規模で当社グループのシナジーを最大限発揮させることを目的とし、積極的に協業を進めております。子会社化したアジア地域の合弁会社やドイツ塗料

(次ページに続く)



代表取締役社長

田谷哲志

メーカー(BOLLIG & KEMPER)等との技術やノウハウ、情報の共有、人の交流により、これまで以上にお客様にご満足頂ける製品を現地の販売網を通じて提供することで、事業の成長が確実に進んでおります。

◎コーポレート・ガバナンス方針の制定

当社グループは、従来から法令遵守の徹底や内部統制システムの整備、役員向けストックオプションの導入等、企業価値向上のためのガバナンスに取り組んでまいりました。これらに加え、当社取締役・監査役の役割と責務、その選任方針や評価の方法、資本政策のあり方、株主との建設的な対話の方針等をコーポレート・ガバナンス方針(以下、CG方針)として定め、当社

ホームページにおいて公表いたしました。今後はCG方針に則した経営を行っていかなかで、株主のみなさまとの建設的な対話をさらに進めてまいりたいと考えております。

「SCステージⅢ」においては、こうした取り組みを通じて中長期的な企業価値の向上をめざしてまいります。株主のみなさまには今後も一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※当社グループは平成27年5月22日に公表した中期経営計画の中で、「コーティングスおよびその関連事業が、それぞれのグローバル地域で、Leading Positionを獲得し、成長基盤を構築している」ことをグローバルペイントメジャーとし、将来の目標として位置付けております。当社ホームページにおいても「中期経営計画(2015年度～2017年度)」で公開しておりますので、あわせてご参照ください。



ドイツのBOLLIG & KEMPER社は、欧州自動車メーカーと太いパイプを持ち、自動車用塗料の世界戦略を進めています。



中国では上海、北京、広州、成都などに主要な製造拠点を設けています。(写真は広州の工場)



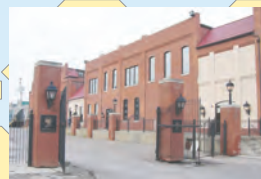
タイではバンコク郊外2カ所に工場を展開。主として、日系自動車メーカーに塗料を供給しています。



塗料メーカーらしく彩られた日本ペイント・マレーシア本社ビル。



ベトナムの3拠点目の新会社は、自動車用、二輪車用塗料を中心に生産しています。



北米では自動車用塗料を中心に展開しています。(写真はNPA COATINGS INC.)



合併事業の発祥となった日本ペイント・シンガポール本社。



日本ペイント・シンガポールの営業車。日本のイメージを全面的に打ち出しています。



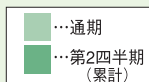
メキシコに進出し、中長期的に中米・南米における自動車ボディ用を含めた自動車用塗料の事業展開をスタートさせています。

連結決算の概要

(単位：億円 億円未満の端数は切り捨てております。)

四半期連結損益計算書

前第2四半期は、平成26年4月1日～平成26年9月30日、
当第2四半期は、平成27年4月1日～平成27年9月30日を示します。

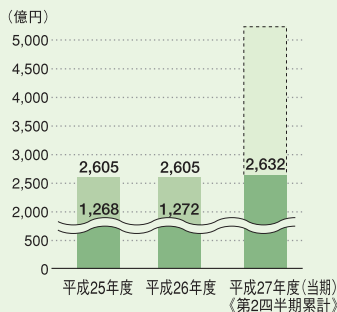


売上高

前第2四半期	1,272
当第2四半期	2,632

<売上高>

前年度のアジア地域の合併会社の持分取得(子会社化)に伴い、前年同期比106.9%増となりました。

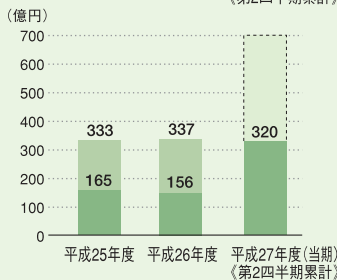


営業利益

前第2四半期	156
当第2四半期	320

<営業利益>

合併会社の持分取得の影響と、それに伴うのれんおよび無形固定資産の償却費用を販売管理費に計上したことなどから、前年同期比104.3%増となりました。

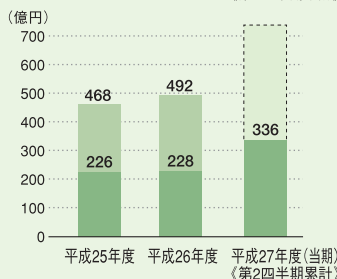


経常利益

前第2四半期	228
当第2四半期	336

<経常利益>

前年同期比47.6%増となりました。

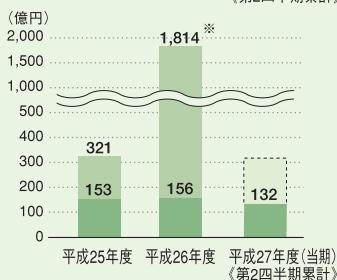


純利益

前第2四半期	156
当第2四半期	132

<純利益>

非支配株主に帰属する四半期純利益を控除した結果、前年同期比14.9%減となりました。



※平成26年度はアジア地域の合併会社の持分取得(子会社化)を実施したことに伴い、特別利益として段階取得に係る差益1,488億円を計上しております。

四半期連結貸借対照表

(億円)

科目	平成27年3月31日現在	平成27年9月30日現在
資産	8,107	8,228
流動資産	3,417	3,677
固定資産	4,689	4,550
負債	2,208	2,384
流動負債	1,669	1,868
固定負債	538	516
純資産	5,899	5,843
株主資本	4,655	4,630
内、利益剰余金	3,147	3,271
負債純資産合計	8,107	8,228

- ・アジア地域における塗料売上高が好調に推移し、受取手形及び売掛金が増加したことなどから、流動資産は増加しました。
- ・企業結合に関する会計基準等を適用したことなどによるのれんの減少や、株価の下落により投資有価証券が減少したことなどにより、固定資産は減少しました。
- ・仕入債務や短期借入金が増加したことなどにより、負債は増加しました。
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加した一方で、企業結合に関する会計基準等を適用したことによる資本剰余金の減少などにより、純資産は減少しました。

連結決算の概要／株価推移

(単位：億円 億円未満の端数は切り捨てております。)

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第2四半期は、平成26年4月1日～平成26年9月30日、
当第2四半期は、平成27年4月1日～平成27年9月30日を示します。

(億円)

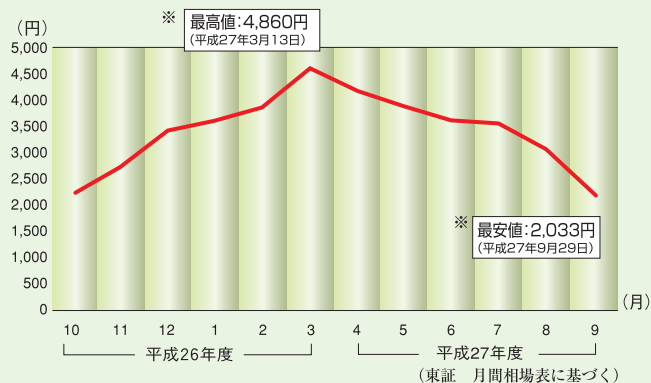
科目	前第2四半期	当第2四半期
営業活動による キャッシュ・フロー	145	137
投資活動による キャッシュ・フロー	△20	△72
財務活動による キャッシュ・フロー	△112	△43
現金及び現金同等物 の期首残高	437	787
現金及び現金同等物 の四半期末残高	452	809

現金及び現金同等物の増加は、アジア地域の持分取得の影響が含まれます。

株価推移 (平成26年10月～平成27年9月)

株価終値平均
(月次平均、円) (東京証券取引所)

— 終値平均株価



※平成26年10月1日から平成27年9月30日までの期間の最高値・最安値

ホームページのご案内

投資家情報ページのご案内

詳細な財務情報や企業情報に関しては、
投資家情報ページをご参照ください。



<http://www.nipponpaint-holdings.com/>

日本ペイントホールディングス 検索

会社概要／株式状況

(平成27年9月30日現在)

本社 〒531-8511 大阪市北区大淀北 2-1-2
TEL 06-6458-1111

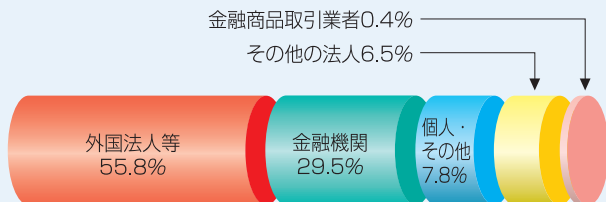
創業 明治14年(1881年)3月14日

資本金 788億6千2百万円

主要な事業内容 塗料およびファインケミカルの製造・販売など。

発行可能株式総数 1,000,000,000株
発行済株式の総数 325,402,443株
株主数 12,099名

所有者別分布状況 (株式数比率)



※自己保有株式4,695,764株は「個人・その他」に含めています。

大株主 ※1

株主名	持株数 (千株)	持株比率 ※2 (%)
※3 NIPSEA INTERNATIONAL LIMITED	126,906	39.57
N A T I X I S	12,356	3.85
日本生命保険相互会社	10,817	3.37
住友生命保険相互会社	10,750	3.35
株式会社三井住友銀行	9,999	3.11
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,172	2.23
株式会社三菱東京UFJ銀行	7,133	2.22
三井住友信託銀行株式会社	7,053	2.19
日本マスタートラスト信託銀行株式会社トヨタ自動車口	5,109	1.59
明治安田生命保険相互会社	4,426	1.38

※1.当社は、自己株式4,695,764株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控えて算出してあります。

※2.持株数は千株未満、持株比率は小数点第2位未満を切り捨ててあります。

※3. NIPSEA INTERNATIONAL LIMITEDは、ゴー・ハップジン氏が代表を務める WUTHELAM HOLDINGS LTD.の100%子会社です。

役員／株式メモ

(平成27年9月30日現在)

役員

取締役会長	酒井 健二
代表取締役社長	田 堂 哲志
代表取締役専務執行役員	西 島 寛 治
取締役上席執行役員	南 学
取締役	ゴー・ハップジン
社外取締役	小 原 正 敏
常勤監査役	金 倉 顕 博
常勤監査役	桑 島 輝 昭
社外監査役	清 水 正 裕
社外監査役	高 橋 司
社外監査役	松 本 岳

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	6月中
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区 伏見町三丁目6番3号 フリーダイヤル 0120-094-777
公告方法	電子公告により行う。 http://www.nipponpaint-holdings.com/koukoku/ ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。